

晴れの受章おめでとうございます

政府は、10月10日付けで第25回危険業務従事者叙勲受章者を、11月3日付けで平成27年秋の叙勲受章者をそれぞれ発表しました。また、同日付けで総務大臣表彰を発表しました。市内では次の皆さんが受章されました。

南小学校に統合前の相去小学校をはじめ南中学校の学校医を半世紀にわたって務め、児童の健康を見守り続けてきました。検診や予防接種により子どもたちの健康状態を早めに把握できるように became 喜び、成長が早いため子どもたちの顔がわからなくなってしまうと笑顔を見せません。受章について「長く務めただけです。恐縮しています」と話していました。



瑞宝双光章
【学校保健功労】
及川 量平 さん
(相去町・79歳)

昭和58年から5期16年11カ月にわたり市議会議員として地方自治の発展に貢献しました。在任中は、教育民生常任委員や産業経済常任委員会委員長などを務め、地域福祉や産業の充実に尽力。いかに地域が活性化できるかということに常に考えながら活動してきました。受章について「地域の皆さんのおかげです」と感謝の気持ちを話していました。



旭日双光章
【地方自治功労】
渡辺 紘司 さん
(立花・73歳)

昭和15年から旧国鉄に勤務し操車係をはじめ北上駅助役や仙北町駅長などを歴任しました。人の命を預かる仕事なので安全な運行を心掛けて業務に携わってきました。戦時中の釜石駅勤務時代に大空襲に遭ったことが忘れられず、戦闘機からの砲撃が飛び交う中を逃げたと回想します。受章について「まさかという気持ちです」と喜びを話していました。



瑞宝单光章
【鉄道業務功労】
日下 實 さん
(立花・90歳)

昭和33年から平成8年に退職するまで教職に就き、北上北中学校や北上中学校の校長を務めました。難しい年頃の生徒の指導は大変だったと振り返りながらも授業をすることが楽しかったと語ります。退職前に授業の時間を特別に作ってもらったと当時の同僚に感謝しています。受章について「ただただ、びっくりしています」と話していました。



瑞宝双光章
【教育功労】
澤田 泰一 さん
(花園町・79歳)

旧江釣子村婦人会時代から活動を始め、北上市明るい選挙推進協議会委員として成人式での模擬投票を開催するなど明るい選挙の推進に長年尽力。国民参政125周年・普通選挙90周年・婦人参政70周年記念表彰として総務大臣感謝状が贈られました。感謝状を受け取り「活動に協力してくれた皆さんのおかげです。感謝しています」と話していました。



【北上市明るい選挙
推進協議会会長】
渡邊 満子 さん
(北鬼柳・83歳)

総務大臣感謝状

昭和39年10月に消防士となり平成12年に北上消防署長として退職するまで35年余り地域住民の安全・安心に尽力しました。水道が整備されていない時代は消防水の確保が大変だったと言います。水を引く方法を考えながら現場に向かったと振り返ります。受章について「光栄です。同僚や家族のおかげでいただけると思っています。感謝したい」と話していました。



瑞宝双光章
【消防功労】
高橋 康雄 さん
(鍛冶町・76歳)

危険業務従事者叙勲

地域貢献活動企業褒賞

企業の地域貢献活動を

ご紹介ください

★地域貢献活動とは？

地域社会の活性化、地域が抱える課題の解決に貢献した企業の活動をいいます。

(例)「自治会などと共に地域の環境美化活動に取り組んでいる」「地域の祭りなどに参加協力している」「道路沿いに植



【昨年の事例】リボンシャワーの飾り付け作業(左)、地区の演奏会での楽器搬送協力(右)

募集する情報は、①市内に事業所がある企業(公益法人

★情報をお寄せください

裁している「除雪ボランティアを実施している」「小学生の社会科見学や学生の職業体験の受け入れをしている」「会議室を無料開放している」など
皆さんから寄せられた活動の情報は、市のホームページでお知らせするほか、特に優れた活動には功績賞を贈ります。
功績賞を受賞した企業は、来年3月開催予定のフォーラムで表彰されるほか、地域貢献企業の証として「北上市地域貢献活動認証マーク」を2年間使用することが認められます。
※功績賞の対象となるには、活動企業の「エントリーシート」の提出が必要です。また、「功績賞」受賞の活動を、受賞時から5年継続されている場合は、功績継続賞を贈ります。

市内で地域貢献活動に取り組む企業の皆さんへ、「ありがとう」の気持ちを贈ります



北上市地域貢献活動認証マーク

や個人事業主を含む)が行った活動②市内で行われた活動(規模の大小は問わない)③今年1年間(27年1月～12月)に行った活動1です。
▼受付期間:1月20日(水)までに規定の用紙(市民用・企業用)に記入し地域づくり課へ。募集案内や規定の用紙は3庁舎、生涯学習センター、各地区の交流センターにあるほか、市のホームページからもダウンロードできます

問い合わせ

地域づくり課

☎72-8300

百歳 これからもお元気で

市は、10月に満百歳を迎えた2人に祝い状と記念品を贈り、長寿を祝いました。

高橋オシゲさん(上江釣子)は大正4年10月11日生まれ。28歳で故要助さんと結婚し、子8人、孫14人、ひ孫14人に恵まれています。真面目で几帳面なおシゲさんは80歳ころまで米や野菜作りなどの農業に従事していました。耳が遠くなったものの手すりを使って歩き、民謡などを歌うことを楽しんでいきます。記念品を受け取り「ありがとうございます」と感謝を伝えていました。



祝い状を手にするオシゲさん(中央)



祝い状を手にする堅太郎さん(中央)

佐藤堅太郎さん(相去町)は大正4年10月18日生まれ。26歳でマサさんと結婚し、子7人、孫12人、ひ孫4人に恵まれています。長年運転手として働きながら農業にも従事した堅太郎さん。現在も自宅近くの田の水を見て回るなど作業を続けています。趣味だったゲートボールは相去チームで全国大会に出場したほどでした。百歳になった感想を「まだ50歳くらいのつもり」と話していました。